

経静脈麻酔薬投与下検査説明書

当院では、食道、胃、大腸の内視鏡検査等が困難な方を対象として、静脈麻酔薬を使用して、苦痛をとった状態で内視鏡検査を施行しています。

1 方法

検査前に、点滴の針を刺し、検査直前に静脈麻酔薬（薬名フルニトラゼパムまたはミタゾラム）を注射します。静脈麻酔薬を使用した後は、眠くなり完全に寝てしまうか、もしくはもうろうとした状態になります。この状態で内視鏡を挿入し検査を行ないます。

検査終了後、始めに投与した静脈麻酔薬を打ち消す薬（拮抗薬）を静脈内へ注入します。すぐに目が醒めますが、もうろうとした状態なので、200mlの点滴を1本ベッドの上で受けながらお休み頂き、意識がはっきりした状態になってからお帰り頂きます。

従って、検査開始から帰宅できる状態まで約1時間を要します。また、経静脈麻酔薬が一旦醒めた後でもう一度効くことがありますので、検査後は一日中、自動車などの運転を禁止させて頂いております。

2 合併症

稀に、静脈麻酔薬が効きすぎてしまう事により、呼吸が停止したり、血圧が低下することがあります。その際は検査を速やかに中止し、対症療法や、緊急の処置をさせて頂きます。

尚、静脈麻酔薬投与下内視鏡検査を希望され、同意書に署名された方の中で、他のご病気がある方や、薬剤に敏感に反応する方は経静脈麻酔薬投与下内視鏡検査を行えない場合がございます。その際はご了承くださいますようお願いいたします。

- ※ 安全を確保するため検査の状況によっては、予約時間より開始が遅れる場合がございます。ご了承くださいますようお願いいたします。
- ※ 以上の説明で、ご不明の点や質問等がありましたら、検査医または看護師に遠慮なくお尋ねください。

経静脈麻酔薬投与下内視鏡検査同意書

私は、経静脈麻酔薬投与下内視鏡検査の方法、合併症について別紙のとおり説明しました。

※同意した場合でも検査前なら撤回でき、わからないことは質問し、説明を受けることができます。

年 月 日

医院
病院
クリニック

説明医師名

私は、経静脈麻酔薬投与下内視鏡検査の方法と合併症などについて、医師からの説明および説明書により十分理解しましたので、その実施に同意します。また、実施中に緊急の処置を行なう必要がある場合には、適宜処置を受けることについても、同意します。

鎮静剤の使用を 希望する

希望しない

平成 年 月 日 患者氏名： _____